

総合戦略施策検討資料 【基本目標：しごと・経済が元気！】

統計資料からみるまちの状況

- 平芝工業団地、グリーンテクノみたけの造成により、製造業を中心とした起業立地を進めている。
- 若い世代の就職期での転出が多く、自町内就業率が低くなっている（H22 時点で 37.3%）。町内企業の多様性、町内企業での雇用と就労のマッチングに課題がある。
- 町内の工業団地では町内従業者が 2 割程度となっており、町外からの通勤が多いことから、経済の域内循環に課題がある。

総合計画策定に伴う住民アンケート調査から 平成 26 年度実施 回答：697 人

- 「企業誘致」は、重要度が高く、満足度が低い【重点改善項目】に位置づけられている。
- 若者定住促進に必要な方策は「雇用の場づくり」が突出して高い。
- 自由意見では、休耕田等を活用した仕事、特産品の開発といった農業振興についての意見や、製造業を中心とした企業誘致を積極的に進めるべき、といった意見が多くあがっている。

みたけ創生有識者会議 第 1 回、第 2 回意見から

- ものづくりの仕事も多いが、今はインターネット等の普及で、在宅でできる仕事、女性だからできる仕事も増えてきている。
- リニア新幹線ができれば、中津川から品川まで 30 分強となるので、週 1 回くらい東京に行けばよいという考え方の企業であれば、それほど大きな企業でなくてもできる時代となる。
- 町内企業に関する情報提供が十分でないことが課題となっている。工業団地と一般住民の接点が少ないことから、工業団地の人から PR をしようと思ってもなかなか伝わらないのが現状である。口コミで情報が広まるよう、日常の世界で接点を持てるとよい。



統計資料やアンケート、会議での意見等から
導かれる課題と今後の方向性

- 町内における雇用と就労のマッチング支援
- 町外からの通勤者の移住・定住の促進
- 経済の域内循環の促進
- 町内企業の魅力の効果的な発信
- 企業誘致、起業・創業支援による、町内における産業基盤の多様化
- 農業の担い手の育成、特産品開発などによる販路の拡大